

【参考様式】

収量確認参考様式

作物名	大豆
-----	----

【確認①】

過去5年間の対象ほ場の収量が、連続で減収し、かつ、大幅な減収（8割未満）になっていないことを確認します。（必要に応じ、近傍ほ場の推移等とも比較）

(kg/10a)

地名・地番	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	8 / R 4 対比	過去5年平均 ()内は近傍ほ場との対比
ほ場 A (対前年対比)	240	230 (96%)	250 (109%)	230 (92%)	225 (98%)	94%	235 (近傍ほ場との対比：97%)
ほ場 B (対前年対比)	190	180 (95%)	170 (94%)	160 (94%)	150 (94%)	79%	170 (70%)
ほ場 C (対前年対比)	230	250 (109%)	250 (100%)	240 (96%)	230 (96%)	100%	240 (99%)
...							
...							
近傍ほ場（地域） の当年産反収	255	235 (92%)	250 (106%)	230 (92%)	240 (104%)	94%	242

【確認②】

過去5年間の平均収量が、近傍ほ場の平均収量と比較し、概ね同程度（8割以上）であることを確認します。
近傍ほ場で同作物の作付がない場合、畑作物の直接支払交付金対象作物（麦・大豆・そば等）は奥州市の平均単収と比較します。
それ以外の作物は奥州市農林部農政課までお問い合わせください。

【確認結果】

確認①及び確認②の両方を満たした場合（ほ場）のみ、連作障害が発生していないことを確認したものとみなす。